

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年8月21日（木）

2 確認箇所

大型廃棄物保管庫（図1）

3 確認項目

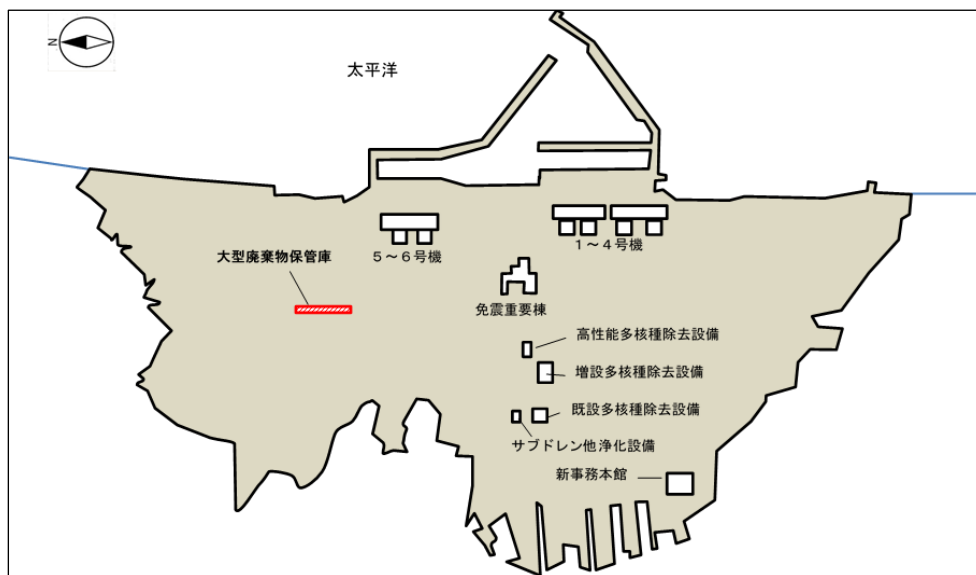
大型廃棄物保管庫耐震補強工事の状況

4 確認結果の概要

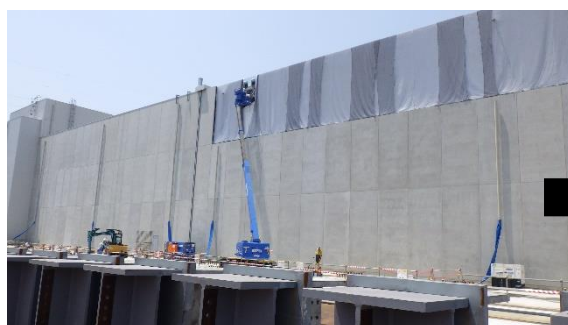
大型廃棄物保管庫（以下「保管庫」という。）は、屋外で一時保管されている使用済セシウム吸着塔を保管するため、5/6号機北側造成地内に整備されている。保管庫については、令和5年6月に原子力規制委員会による使用前検査を完了しているが、令和3年2月及び令和4年3月の福島県沖地震を踏まえ、原子力規制委員会が策定した「東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所における耐震クラス分類と地震動の適用の考え方（令和4年11月）」に基づく耐震クラスの見直しにより、建屋本体の耐震補強等が必要となり、追加工事を実施している。

今回は、保管庫の耐震補強工事の進捗状況について確認した。（前回確認：令和7年6月2日）

- ・保管庫東側の壁において実施されていた、既設鉄骨と新設鉄骨を接続するための部材（鉄骨ブラケット）の取り付け作業が完了していた。前回確認時は、一部外壁が取り外され、シートにより養生されていたが、今回確認時は、鉄骨ブラケット部分を切り欠いた新たな外壁が設置されていた。（写真1）
- ・保管庫東側において実施されていた、基礎スラブの増設工事が完了しており、建屋補強を目的としたバットレス（控え壁）の設置に向けた工事が進められていた。（写真2）
- ・保管庫建屋内の既設の鉄骨に補強のためのブレース（筋かい）が追加されていた。（写真3）
- ・現場確認時は、設置されたクレーンを用いて資機材の移動作業が行われていた。玉掛作業は、玉掛け者・合図者が連携して実施し、安全に作業が進められていた。また、保管されている資機材はネットで覆われた状態で仮置きされており、資機材の散逸等の異常はなく、整理整頓が行き届いていた。（写真4）



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1－1)
保管庫外観東面
(令和 7 年 6 月 2 日撮影)



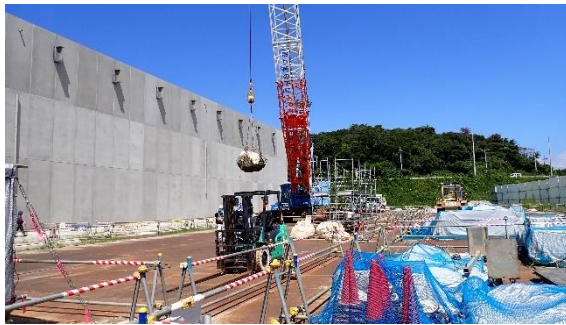
(写真 1－2)
保管庫外観東面
(令和 7 年 8 月 2 1 日撮影)



(写真 2)
建屋東側の基礎スラブの状況
※基礎スラブの上にバットレスが設置される。また、バットレスの上部と鉄骨ブラケット (写真 1－2) が接続される。



(写真3)
ブレースの設置状況



(写真4)
資機材の移動作業及び仮置き状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。